

統を受け継ぐ

ばん が く

番楽



市内には、数百年の伝統を引き継ぐ宝（無形文化財）が多数あります。

13年前の平成7年、私は結婚を機に福岡県久留米市から、旧田代町に移り住んできました。

地域の方々とは触れ合うなかで、田代町にはしっかりと受け継がれていた文化や伝統が数多く残っていることに、驚きを感じるとともに強い関心を持ちました。

その中の一つに、隣の代野町内で、毎年1月1日(元旦)に神社で奉納されている「代野番楽」というのがありました。

これまで見る機会も無かったのですが、どのようなものなのか知りたいと思い、レポートしてみました。

ばんがく 番楽って何？

番楽とは、東北の各地に古くから伝わる芸能で、山野や霊山・霊地で修行を積んだ方々が伝えたと言われる、神楽の一種のことを言うのだそうです。

代野番楽は、約300年ほど前に、旅芸人が旅の途中で代野町内に滞在したときに伝授したと言われ、当時は稲荷神社ではなく、旧岩瀬村字栗木代(通称番楽山)で舞っていたと伝えられています。いつからか代野稲荷神社に場所を変え、11月に行われる例祭と元旦の年2回、五穀豊稔、悪疫退散を祈願して奉納されていました。



福岡市報「リポーターだより」 No. 2

リポーター

北林 由香さん(赤川)

保存会を結成して 昭和48年に再開

古くから続いてきた代野番楽ですが、昭和30年代に番楽を演じてきた方々が少なくなり中断してしまいました。しかし、昭和48年、復活を願う有志が集まって、代野番楽保存会」を結成し、再開すること

ができました。今は8人の会員が受け継いで演じられています。

市の無形民俗文化財にも指定され、現在は元旦だけ神社の本殿で、舞いを披露しています。

この伝統を受け継ぐ会員の皆さんから、代野番楽への思いを伺いました。

番楽十三幕

代野番楽は全部で13の舞いがあり、勇壮な武士舞いと、ユーモアを取り入れたこつけない舞いで構成されています。

露払い 舞台を清める



露払い

一人武士 武士が刀を持って舞う
金巻 武士が獅子を退治する舞い



金巻

二の曾我 曾我兄弟があだ討ちけいこをする様子を舞う



二ノ曾我